

自殺対策計画策定に向けて

第1回茅ヶ崎市自殺対策計画推進委員会説明
平成30年6月12日(火)

茅ヶ崎市保健所
保健予防課

ここで話すこと

- * 茅ヶ崎市の特徴
- * 市役所庁内連絡会での課題
- * 計画の基本理念、基本方針、重点項目について
- * 今回ご意見いただきたいこと

茅ヶ崎市の特徴



データやプロファイリングから見えたこと

- * 茅ヶ崎市は全国や県内で見ても自殺死亡率(以下自殺率)は低位

ただし、

- * 年齢階級別では男性では40代、50代、20歳未満が、女性では30代、70代、20歳未満が全国割合よりも高い割合となっている。
- * 自殺率(人口10万対)では男性が20歳未満が全国平均より高く、女性は30代、70代、20歳未満が高くなっている。

(骨子案未定稿P6参照)

さらにデータを見ていくと

- * 「同居の有無」については自殺者全体の7割が「同居人有り」となっている
- * 男女別で見ても「同居有り」が「同居なし」に比べ多くなっている。
- * 自殺者における「自殺未遂歴の有無」についても未遂歴「あり」が全国の割合に比べて高くなっている。

ここから見る本市の特徴

- * 全体の自殺死亡率は全国的に見ても低位のあるが20歳未満は年齢階級別、自殺率、男女別で全国平均で高い状態にある。
- * 自殺者全体、未遂歴でも「同居有り」の人が多い。特に高齢の女性(60代、70代)の割合が全国平均よりも高い。

(自殺で亡くなった5人に1人は自殺未遂を経験している)

市役所庁内連絡会での課題

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ



市内連絡会とは

- * 平成23年度から市内連係を図る目的で旧保健福祉課が主管課で開催。市内で市民から直接相談を受ける7課を中心に構成。部会でゲートキーパー養成研修等を行った。
- * 市保健所設置の平成29年からは、保健予防課が自殺対策の主管課となったことを受け会議を引き継ぎ、対策計画策定年の平成30年度からは計画策定を所掌事項に加え参画課を13課かいに増やし年3回実施。

連絡会参画課の変遷

平成23年度～

主管課

旧保健福祉課

- 市民相談課
- 生活支援課
- 障害福祉課
- 高齢福祉介護課
- こども育成相談課
- 学校教育指導課
- 教育センター



平成30年度～

主幹課

保健所 保健予防課

- 職員課
- 市民自治推進課
- 市民相談課
- 雇用労働課
- 福祉政策課
- 生活支援課
- 障害福祉課
- 高齢福祉介護課
- こども育成相談課
- 健康増進課
- 市立病院医療連携室
- 消防本部警防救命課
- 学校教育指導課
- 教育センター

5/16に行われた片内連絡会での参加課から出た意見や課題①

- * 介護の悩み、疲れによる虐待、老老介護の問題で社会との接点が少ないなど課題(高齢介護福祉課)
- * 生活困窮では就労していない人の状態の相談が多く、住宅ローンや子どもが小さくて働けない等による経済負担の要因が多い(生活支援課)
- * 就労相談では心の相談につなぐべきかと迷う相談も多い(雇用労働課)
- * 福祉相談室には様々な相談が入ってくる。他部署との関係が大切(福祉政策課)

5/16に行われた市内連絡会での参加課かいから出た意見や課題②

- * うつで自立支援医療を受けている方多い。障がいを抱える家族の悩みや介護疲れは高齢分野と共通する部分多い(障害福祉課)
- * こどもに手をかけたり、自殺念慮のある若い世代の母親、出産を機に精神疾患が再燃してしまうケースあり妊娠中からのケアが大切(健康増進課)
- * 子育て支援の相談員が訪問し服薬管理等フォローしていた翌日自死された事例がある(こども育成相談課)

5/16に行われた市内連絡会議での 参加課かいから出た意見や課題③

- * 相談対応をしていたケースが自死してしまった。家族だけでなく相談員もショックを受けた(市民相談課)
- * SOS出し方の教育の推進という視点より、命を大切にする教育の取り組みを主体に考え、自己肯定感を持つことがこどもの危機になる前の予防になるのでは(学校教育指導課)
- * 教育相談で死を仄めかす相談もあり卒業してからフォローもしているが、離れてしまうこともあるため予防が大切。20歳以下の内訳は不明だが、高等教育との関係も大切(教育センター)

5／16の連絡会で得られた気づき

市役所の市民に直接相談を受ける課では、それぞれ対応はしているが、生きることをはばむ課題はあり、より一層の連携が必要であった。

計画の基本理念、基本方針、重点項目 について



データ、意見と地域自殺対策政策パッケージを基に考えた基本理念と基本方針

基本理念 誰も追いつまれない地域の実現

基本方針

- * 気づきと見守りのある地域づくり
- * つながるを支える人材の育成
- * 市民への啓発と周知
- * 生きることへの促進要因への支援
- * 命を大切にす教育の取り組み推進

特に力点を置く重点施策は地域自殺実態プロフィールを基に以下の項目とする

- * 勤務、経営対策（働き盛り世代対策）
- * 高齢者対策（シニア世代対策）
- * 生活困窮者対策（経済的な問題対策）

お聞かせください

- * 事前アンケートでお答えいただいた意見以外でのご意見
- * 基本理念、基本方針、重点項目についてのご意見

